

■ 研究課題名

7 芽胞形成菌を中心とした食中毒起因菌の病原因子と検査法の確立に関する研究

■ 研究の概要

ウェルシュ菌やボツリヌス菌等芽胞形成食中毒起因菌においては、十分な検査法が確立されているとは言えない。特に近年、従来の食中毒検査法では検出し難いウェルシュ菌（非定形的性状を持つ菌、新型下痢原性毒素産生菌）による食中毒が発生し、このような原因菌も検出できる好感度な検査法の確立や菌性状の検査が急務となっている。さらに、ボツリヌス菌による食中毒疑い事例においては、マウスを用いた検査法が一般的に行われているが、動物愛護の観点から代替検査法の導入が望まれている。そこで、本研究では十分な検討がなされているとは言えない嫌気性芽胞菌等の検出法の検討を中心に、食中毒発生原因の究明のため、様々な菌体の性状や病原因子の解析を行うことにより、食中毒の拡大防止に寄与することを目的とする。

■ 研究期間

平成 30 年度から令和 2 年度まで

■ 研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター 所長 大井 洋

■ 研究責任者の氏名

微生物部食品微生物研究科

門間 千枝

■ オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。